PART４　特殊な否定

Ｅ「特殊な否定」

①　**未嘗**～＝いまダかつテ～ず／（今まで一度も～ない）

（例）未嘗夜読。〔未だ嘗て夜に読まず。〕（今まで一度も夜中に（書物を）読んだことがない。）

②　**不敢**～＝あヘテ～ず／（決して～ない）

（例）不㆓敢ヘテ知㆒ラ。〔敢へて知らず。〕（決して知らない。）

> ★似ているので要注意！
> ＊　敢不～（乎）＝あヘテ～ざランや
> （どうして～ないことがあろうか、いや～する）

③　**Ａ不可勝Ｂ**＝｛ＡあゲテＢべカラず／ＡＢニたフべカラず｝／（ＡはＢきれないほど多い）

（例）星不㆑可㆓勝数㆒。〔　　　　〕（星は数えきれないほど多い。）

（例）星不㆑可㆑勝㆑数。〔　　　　〕（星は数えきれないほど多い。）

④ **無A無B**【AとBが対義語】＝AトなクBトなク／（AとBの区別なく）

＊AとBが対義語ではないとき＝AトシテBなキハなシ／（AにはすべてBがある）

（例）無貴無賤、…〔　　〕（　　）

無人無情。〔　　〕（　　）

⑤ **無N不V**＝NトシテVざルハなシ／（VしないNはない＝Nなら必ずVする）

（例）無人不学。〔　　〕（　　）

第３講　PART４　確認問題

① 「未嘗至於偃(えん)之室也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　偃…人名。

ア　未だ嘗て偃の室に至る。
イ　未だ偃の室に至ること嘗てあらざるなり。
ウ　未だ嘗て偃の室に至らざるなり。
エ　未だ偃の室に於いて嘗て至る。

② 「強秦(しん)ノ不ル三敢ヘテ加ヘ二兵ヲ趙(てう)ニ一者ハ、…」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　強力な秦が決して趙に対して兵を挙げないのは、…
イ　強力な秦が趙に対して兵を挙げないことがあろうか、いや、挙げるはずで、…
ウ　強力な秦はどうしても趙に対して兵を挙げないわけにはいかず、…
エ　強力な秦が勇気を出して趙に対して兵を挙げることができないのは、…

③「穀不レ可二勝食一也。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　穀物は満足に食べるほどはない。
イ　穀物は決して食べてはいけない。
ウ　穀物は食べるのに勝ることはない。
エ　穀物は食べきれないほど多い。

④「無レ富無レ貧、皆敬二父母一。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　とみとしてひんなきはなく、
イ　とみなくんばひんもなく、
ウ　とみとなくひんとなく、
エ　とみなくしてひんなく、

⑤「無二物不一レ消。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ものは決して消滅しない。
イ　消滅しないものはない。
ウ　ものは消滅することもある。
エ　消滅しないものもある。

第３講　ＰＡＲＴ４　解答

二

Ｅ

③〔星勝げて数ふべからず。〕
〔星数ふに勝ふべからず。〕

④〔貴と無く賤と無く、…〕（身分の高い者と低い者の区別なく、…）
〔人として情け無きは無し。〕（人はみんな思いやりがある。）

⑤〔人として学ばざるは無し。〕（人なら必ず学ぶ。）

第3講　PART4　確認問題　解答

〔解説〕

①　「未嘗〜」は「いまダかつテ〜ず」と読むので、正解はウ。

②　「不敢〜」は「あへテ〜ず」と読み、「決して〜ない」という意味。よって、アが正解。「敢不〜」は「あへテ〜ざランや」と読み、反語の意味になるので、語順に注意して判断する。

③　「A不レ可二勝B一」は「AあゲテBベカラず」または「ABニたフベカラず」と読み、「AはBきれないほど多い」という意味。よって、エが正解。

④　「無レA無レB」はAとBが対義語である場合、「AトなクBトなク」と読み、「AとBの区別なく」という意味。ここでは、「富める者と貧しい者の区別なく、皆父母を敬う」という文脈。よって、ウが正解。

⑤　「無二N不レV一」は「NトシテVざルハなシ」と読み、「VしないNはない＝Nなら必ずVする」という意味。よって、イが正解。

〔解答〕

①　ウ　②　ア　③　エ　④　ウ　⑤　イ